

生活習慣・食生活アンケート調査の結果

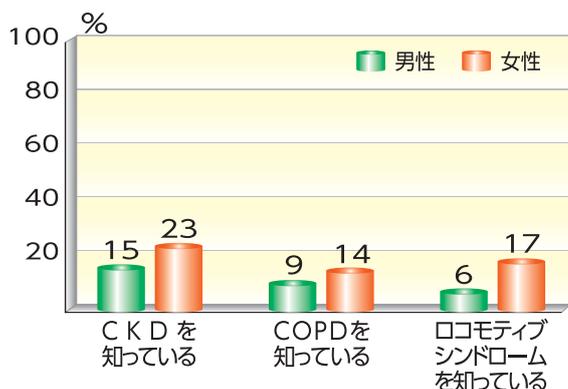
～その3～

今回は、医療および運動面から、主に健康への意識に関する結果をお知らせします。



対象者 20～74歳(無作為抽出) 発送数 2,488人
 若年層:20～39歳 有効回答数 987人
 壮年層:40～59歳 (男性435人、女性552人)
 高年層:60～74歳 回答率 39.8%

Q CKD、COPD、ロコモティブシンドロームを知っていますか？



結果

いずれも認知度が低く、特に男性が低い状況でした。CKDの認知度は、年齢が上がるにつれ高くなっています。COPDの認知度は、年齢が下がるにつれ高くなっています。ロコモティブシンドロームの認知度は、他に比べ年齢での違いはありませんでした。

コメント

全ての年齢層男女において認知度が低いため、CKD、COPD、ロコモティブシンドロームに対する認知度を全体的に高める必要があります。

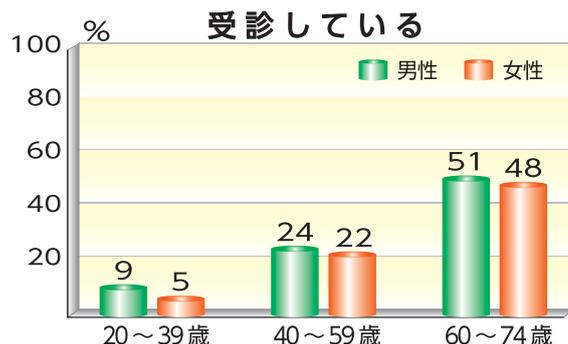
豆知識

CKD(慢性腎不全)
 慢性的に経過するすべての腎臓病を指します。20歳以上の8人に1人いると考えられており、新たな国民病と言われています。生活習慣病やメタボリックシンドロームとの関連が深い病気です。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)
 慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれていた病気の総称です。2013年の男性の死亡原因の8位に入っています。原因の95%が喫煙によるもので、受動喫煙もリスクがあります。

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)
 体の動きに関わる部分(運動器)が衰え、暮らしの中の自立度が低下してしまう状態です。この状態が進行すると、近い将来、要介護や寝たきりになる可能性が高くなります。

Q 定期的に医療機関を受診していますか？



結果

月に1回以上医療機関を受診している人は男性34%、女性29%ですが、高年層では男女とも約半数となっています。受診率は、男女とも年齢が上がるにつれ高くなっており、いずれの年齢層も男性がやや高くなっています。

コメント

高年層が何の病気で医療機関を受診しているのか、実態と受診行動について、正確な把握と対応が必要です。